



令和7年上半期貸出・予約ベスト

【R7.1.1～6.30 一般書】

1. 架空犯	東野圭吾	幻冬舎	23回
2. わたしの知る花	町田そのこ	中央公論新社	21回
3. クスノキの女神	東野圭吾	実業之日本社	20回
4. ドヴォルザークに染まるころ	町田そのこ	光文社	18回
ブラック・ショーマンと覚醒する女たち 東野圭吾 光文社			
6. あなたが誰かを殺した	東野圭吾	講談社	16回
7. C線上のアリア	湊かなえ	朝日新聞出版	14回
対岸の家事 朱野帰子 講談社			
9. 透明な螺旋	東野圭吾	文藝春秋	13回
人魚が逃げた 青山美智子 PHP研究所			
リラの花咲くけものみち 藤岡陽子 光文社			

1. カフネ	阿部暁子	講談社	22回
2. 月とアマリリス	町田そのこ	小学館	20回
3. C線上のアリア	湊かなえ	朝日新聞出版	14回
謎の香りはパン屋から 土屋うさぎ 宝島社			
5. ありか	瀬尾まいこ	水鈴社	11回
6. 禁忌の子	山口未桜	東京創元社	10回
7. コンビニ兄弟4	町田そのこ	新潮社	9回
8. 十字屋敷のピエロ	東野圭吾	講談社	8回
ドヴォルザークに染まるころ 町田そのこ 光文社			
10. 月収	原田ひ香	中央公論新社	7回
DIE WISH ZERO ビル・パーキンス ダイヤモンド社			

《小説》

- 『クロエとオオエ』 有川ひろ(著) 講談社
- 『紅色の幻』 あさのあつこ(著) PHP研究所
- 『ティータイム』 石井遊佳(著) 集英社
- 『本望』 稲葉稔(著) 光文社
- 『奇のくに風土記』 木内昇(著) 実業之日本社
- 『不等辺五角形』 貫井徳郎(著) 東京創元社
- 『フジコの十ヶ条』 真梨幸子(著) 徳間書店
- 『ユーモアの鎖国』 石垣りん(著) 筑摩書房

新刊案内

《その他》

- 『なぜ人は自分を責めてしまうのか』 信田さよ子(著) 筑摩書房
- 『一生に一度は見たい鉄道の絶景』 宝島社
- 『警備のプロが教える防犯の新常識』 倭文浩樹(著) きずな出版
- 『エブリデイ春巻き』 夏井景子(著) 誠文堂新光社
- 『家の売り方大全』 谷崎真吾(著) あさ出版
- 『千住博の世界』 平凡社

《電子書籍》 ※パソコンやタブレット、スマートフォンから電子書籍を借りて読むことができます

- 『ひんやりごはん』 蓮池陽子(著) 山と溪谷社
- 『口に関するアンケート』 背筋(著) KADOKAWA
- 『恋愛禁止』 長江俊和(著) KADOKAWA 他

8月

8/23は夏まつりのため、勝山分室は臨時休館いたします

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

おはなし会(会場:本館) 0～2歳くらい(11:00～) 3歳くらいから(11:00～)

休館日 毎週月曜日 毎月最終木曜日 開館時間 本館 10:00～18:00 分室 12:30～17:00

※最新の情報はホームページをご確認ください。

図書館員おすすめの本

『二都物語(上・下)』

ディケンズ(著) 光文社(2016)

ディケンズの代表作。パリとロンドンを舞台に時代の一大転換期を市井の人たちの目線で描いています。最初はなんの関わりもない人たちが最後には全て繋がっていきます。フランス革命を起こしたのは、名もない庶民で、それぞれの哀しみ、苦しみが見事に表現されています。[和]



『ショートショート千夜一夜』

田丸 雅智(著) 小学館(2016)

8月なのでちょっと不思議なお話はいかがでしょう。この作品には、多魔坂神社の祭りが舞台のショートショート全20編が収録されています。暑くて本に集中できなくても、一つのお話が短いので、少しずつ読み進められます。[Ma]



『ヒッタイト帝国』

津本 英利(著) PHP 研究所(2023)

ヒッタイトは紀元前17世紀から紀元前12世紀ごろに、現在のトルコ付近にあった製鉄技術に優れていた国です。長年謎の多い国・民族でしたが、近年では遺跡の発掘・調査や文書の解読が進み、様々なことがわかってきました。本書はヒッタイトの歴史や文化・宗教等について紹介しています。[佳]



『いとしきもの』

小川 糸(著) 文藝春秋(2025)

著者は、コロナ過などで生き方に苦しんでいた頃に、日本の美しい森と出会い都会から森への移住を決意します。衣食住もシンプルに、大好きな道具や物たちに囲まれた心豊かな理想の生活をスタートさせました。森で深呼吸をした時の様な空気が本を通して伝わってきます。[S]



『54字の百物語』 氏田 雄介(編著) 武田 侑大(絵)

PHP 研究所(2020)

まだまだ暑さが続くこの時期に、怪談をテーマにした短編小説集はいかがですか？54字という短い文章ですが、短い故に色々想像が膨らみます。そこに込められた怖さが分かると背筋がひんやり涼しくなること間違いなし！[もふ]



『パフィン島の灯台守』

マイケル・モーパーゴ(著) 佐藤 見果夢(訳)

評伝社(2023)

嵐の夜、荒れ狂う波に襲われ座礁したペリカン号に乗っていた30人の命を救った灯台守がいました。その船に乗っていた少年アランは、大人になったある日、島を訪れます。懐かしい灯台守に再会し、ふたりは家族のように絆を深めていきます。人と人のつながりのあたたかさが伝わってくる本です。[はりねずみ]



【お知らせ】ふくろうの森通信は9月号から内容をリニューアルします。より本の紹介に重点をおいていきたいと思っていますのでぜひ、ご覧ください。[Ma]



電子図書館



みやこ町図書館 HP